



幡多地域アクションプランの進捗状況等について
(第3四半期)

幡 多 地 域 本 部

平成30年2月13日(火)

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H30.2.13

幡多地域本部

1 地域アクションプランの平成29年度（第3四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域の地域アクションプラン（48事業）は、引き続き、各種助成制度やアドバイザーの活用、各種研修会への参加等により、新商品づくり、県版 HACCP の取得に向けた取り組みや、新たな加工施設の整備を行い生産拡大に取り組む事業者も出てきている。また、それぞれの事業者が、県内外での営業活動・商談会への参加や、地域内の事業者相互の情報交換を行っているほか、6市町村が連携して、南国市で物産展を行うなど、概ね順調に推移している。

農業分野では、「ユズ」、「直七」、「ぶしゅかん」等の柑橘の産地化やブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指して、作付面積の拡大や、官民協働による体制づくりなどの取り組みが順調に進められている。「ぶしゅかん」は、8月には拠点施設が稼働し、食品表示研修や学校給食利用など地産地消、外商に向けた取り組みを推進している。畜産関係では、長期肥育鶏「土佐極鶏あしずりキング」の取り組みで産振総合補助金の交付決定を受け、加工処理・保管施設が、年度内に完成、H30年度から加工・出荷を開始する予定である。また、「土佐極鶏あしずりキング」を土佐清水市がH30年度に商標登録して、土佐清水市の新しいブランドとして発信していく計画となっている。

林業分野では、土佐備長炭の生産体制の強化や販路拡大に向けた取り組みが進められている。懸案となっている原木の確保については、原木伐採の契約を締結したほか、11月には苗木の植樹を行うなどの取り組みをすすめている。

水産分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」、「ブリ」、「タイ」、「キビナゴ」等の水産加工事業者を中心とした外商活動の展開や、県外の飲食事業者と連携した販売の仕組みづくり等により、概ね順調に販売が拡大するとともに雇用の創出にもつながっている。「メジカ」では、H30年度に産地入札会と宗田節祭りの開催が決定したほか、宗田節を使ったメニューを提供する土佐清水市内21店舗が参加して、宗田節ロードスタンプラリーを11月から実施するなど、ソフト事業もすすんでいる。

また、県版 HACCP の取得は農林水産業全体で取り組んでおり、12月には新たに1社が第3ステージを取得した。

観光分野では、「幡多広域観光協議会」を核として、6市町村や観光関係団体の連携のもと、着地型の旅行商品や体験メニューづくり、それを活用した旅行会社等へのプロモーションや海外でのインバウンド誘致の取り組みが引き続き展開されている。スポーツツーリズムの取り組みでは、7月にオープンした土佐西南大規模公園の人工芝グラウンドなど、幡多地域の各施設を生かして、合宿や大会の誘致に取り組んだ結果、すでに本年度の目標を上回る利用予約を受けている。竜串観光プロジェクトでは、今後の各種施設の整備にあわせて、観光クラスター形成に向けた関係者の協議を開始した。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田蘭園 ・蘭遊六志会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：165,000 千円<H26：80,438 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：100,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：100,000 千円→実績 75,611 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (1～9 月)：28,529 千円 (前年同期比 100.9%)</p> <p>◇販路開拓と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品 <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外拠点とのリレー出荷システムの構築に向けた取り組み <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益アップに向けた更なるコスト削減策の検討 ⇒海外の生産拠点からの安定的な苗供給体制の確立 ・切り花出荷の強化 ⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大 ・新たな取引先の獲得 ⇒県外でのフェアや商談会への参加などの営業活動の展開
<p>■No.2 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有) 成田果樹園 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：65,000 千円 <H27：44,179 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：47,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：47,000 千円 → 実績：57,225 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (8～9 月)：2,077 千円 (前年同期比 177.7%)</p> <p>◇新事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柑橘を利用した美容と健康のワークショップの開催 (6/18) ・地元の農産物 (柑橘、ショウガなど) を使った飲料を開発中 <p>◇既存商品の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培、減農薬栽培への継続的な取り組み ・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな市場開拓 <ul style="list-style-type: none"> ⇒シトラスビューティー(柑橘等を利用した美容と健康の増進)のPR活動の実施及び商品購入に繋げていくための戦略づくり ⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進 ⇒小規模事業者持続化補助金を活用した新事業向け商品の開発
<p>■No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)足摺農園 ・土佐清水市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産羽数:3,000羽<H27:-> 加工出荷額:14,994千円<H27:-></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>生産羽数:1,000羽 加工出荷額:3,528千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>—(H29新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇加工処理施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体の経営力強化に向けたアドバイザーの活用協議(4/24) ・産振総合補助金の活用による加工処理施設等整備(11/6交付決定、3月末竣工予定) <p>◇生産体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期肥育鶏の試験肥育の継続(H29試験肥育30羽) ・試験肥育鶏の解体処理・冷凍保管(9月) ・県版HACCP研修の受講(9/13~9/14) ・ブランド名を「土佐極鶏あしずりキング」に決定 <p>◇流通体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西方面の販路開拓協議(6/30) ・土佐清水市内の販路開拓協議(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工処理体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒加工処理施設の発注・整備 ・販路の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒販売予定先との具体的な協議

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・四万十ぶしゅかん生産者組合 ・四万十ぶしゅかん(株) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>栽培面積:1,440a<H27:490a> 生産量:46,800kg<H27:18,700kg></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>栽培面積:1,020 a 生産量:31,500kg</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>栽培面積:840 a → 実績 720 a 生産量:25,600kg → 実績 26,259kg</p> <p>[取組状況]</p> <p>栽培面積(9月末):720a(前年同期比100.0%) 生産量(9月末):23,380kg(前年同期比89.0%)</p> <p>◇産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新植希望園地の協議(4/17)、現地確認(5月～) ・接ぎ木苗の育苗指導(4月～) ・特別栽培農作物(成木・幼木)栽培管理暦作成(7/31) <p>◇生産量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若木の管理等の定例的な講習会、現地指導の開催(5月～・13回) ・栽培マニュアルの改訂及び結果樹限定防除暦の作成(6/20) ・栽培基準検討会(12/18) ・苗木の購入に係る市単独補助事業の実施(4月～) ・生産者組合役員会(5/22、11/27)及び総会(5/26)の開催 <p>◇集出荷体制の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集出荷体制の検討(5/22、5/26) ・出荷基準検討会(7/11) ・集出荷支援(人件費等へ市補助・8～10月) ・ふるさとワーキングホリデー受入(1名・9月) <p>◇生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP研修受講(6/6～6/7) ・HACCPアドバイザーによる書類作成指導(8/30、9/21) ・食品表示研修(11/9) ・集荷加工の拠点施設の稼働開始(8/21) <p>◇展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事販売等の実施(8回) ・商談会へ出展(5/30、6/21、6/23、7/27～7/28) <p>◇各種媒体でのPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶしゅかんどリンクのテレビCM放映

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶしゅかんダンス振付ガイド (DVD、CD) 制作 (6/27) ・ぶしゅかん解禁イベント開催 (8/19) ・首都圏でぶしゅかんキャンペーン(浅草農園9/9～9/10) ・ふるさと納税返礼品に青玉を出品 (9/12～9/30) ・学校給食でのぶしゅかん使用 (9/9、10/4、10/19、11/6) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の生産技術、ノウハウの習得 ⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施 ・集出荷体制の効率化 ⇒出荷基準の周知徹底 ・100年ぶしゅかんブランドの確立 ⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上 ⇒青玉の出荷基準の試行 ・販売戦略の構築 ⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立 ⇒商品コンセプトの再構築 ・ぶしゅかんの認知度の向上 ⇒地元の飲食店等での活用促進 ⇒メディアを活用したぶしゅかんのPR強化 ・生産コストの削減、衛生管理体制の強化 ⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設の安定稼働 ⇒県版 HACCP 認証の取得に向けた取り組み
<p>■No.5 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 三原村農業公社 ・三原村 ・JA高知はた 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生産量：495 t <H26：103 t> 販売金額：129,388 千円 <H26：16,738 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>生産量：240 t 販売金額：50,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>生産量：175t → 実績 221.5 t 販売金額：27,500 千円 → 実績 45,020 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売金額 (9 月末)：5,403 千円 (前年同期比 125.5%)</p> <p>◇地域農業支援システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業公社を核とした農業支援システムづくりの検討 ・ユズの栽培管理技術の向上 剪定講習会 (4/21)、組合員戸別巡回 (4 回)、新規就農者巡回 (5 回)、栽培講習会 (2 回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇青果出荷体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷マニュアル、施設利用申し合わせ事項の検証 <p>◇基盤整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域所得向上支援事業における農地造成関連工事等発注(積算委託 7/3、立木等伐採 7/20、造成工事 9/25) <p>◇ユズ商品加工・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ皮を使った商品づくり、販路開拓 ピール菓子商品化、4月より試験販売 <p>◇肥培管理の徹底、青果率向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会(4/28、5/26、8/28) ・剪定講習会(4/21) ・公社ユズ園巡回7回(4~6月) ・公社一般部会員個別巡回5回(5~9月) <p>◇ユズ共同選果施設運営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者(JA、公社、村、ユズ部会、センター)協議(4/24) <p>◇新規就農者の栽培技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者巡回11回(4~9月) ・3者面談の実施(農業者・村・県、9/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の充実 ⇒県版 HACCP 第3ステージの申請検討
<p>■No.7 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売量:200t <H26:75.7t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売量:120t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売量:120t → 実績113.6t</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売量(10月末):56.4t(前年同期比88.1%)</p> <p>◇生産力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合の定例総会の開催(事業計画等の協議)(5/17) ・ウバメガシ搬出作業道の整備 (県地域林業総合支援事業費補助金交付決定8/16) ・大月小学校生徒を対象に炭の生産体験学習(11/28) <p>◇原木(ウバメガシ)の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内地権者との伐採契約交渉(契約締結:約6ha) ・ウバメガシの苗植樹(11/1)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業担い手サミットへの出展 (10/24) ・大月町産業祭にて炭の販売 (11/3) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木 (ウバメガシ) の安定的な確保 ⇒山林の確保に向けた関係先との調整 ⇒苗木植樹の継続 ・生産の安定化と増産、品質の確保 ⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識・技術の習得 ・売上アップに向けた取り組み ⇒新たな販売先の確保に向けた営業活動の強化
<p>■No. 10 レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ピアーサーティ <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 4.0 億円 < H26 : 2.7 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 3.7 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 3.7 億円 → 実績 3.78 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (5~9 月) : 2.08 億円 (前年同期比 140.8%)</p> <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな中国人新規実習生の受入 (9 月~) <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き締めの鮮魚の取り扱い開始 (4 月生簀完成) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた販売量の増大と更なる取引先の拡大 ⇒自社レストラン等での周年によるイベントの開催 ・安定した生産体制の整備 ⇒従業員の募集の継続
<p>■No. 11 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)沖の島水産 <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 6 億円 < H26 : 2.5 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 3.5 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 3.5 億円 → 実績 4.18 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (7~10 月) : 1.3 億円 (前年同期比 145.4%)</p> <p>◇商品開発と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の展示会・商談会への出展 (7~11 月 : 19 件) ・県外系列店の新規開店 (7/28)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇生産体制の充実、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新加工場の整備（工事中、年明け稼働開始予定） ・HACCP 研修受講（9/13～9/14） <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキューバダイビングのPR <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社レストラン以外の販路開拓 ⇒通信販売（ネット、DM）等の強化 ・衛生管理体制の充実 ⇒HACCP 取得に向けた取り組みの強化 ・漁労部門の周年雇用の確保 ⇒スキューバダイビング事業の充実、強化
<p>■No. 12 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)勇進 <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：2.56 億円<H26：0 円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：1.26 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：1.26 億円 → 実績 0.94 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（5～10 月）：0.45 億円（前年同期比 163.9%）</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施 ・県内外の商談会への出展（5～11 月：11 件） ・取引先との調整及び取引交渉の促進（5～11 月：20 件） <p>◇生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員教育実施の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加 ⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化 ⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進 ・衛生管理体制の確立 ⇒HACCP 取得に向けた社員教育の実施 ・生産体制の充実、強化 ⇒責任者の配置、人材育成の強化
<p>■No. 14 キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業（大月町）</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>きびなごケンピ売上高：29,820 千円<H26：25,950 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>きびなごケンピ売上高：27,500 千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・八重丸水産(株)</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[H28 到達状況]</p> <p>きびなごケンピ売上高: 26,500 千円 →実績 33,775 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>きびなごケンピ売上高</p> <p>(H29.8 月期): 26,675 千円 (前年比 78.9%)</p> <p>(H29.9~10 月): 3,434 千円 (前年同期比 80.1%)</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷 ・日曜市(イカの日干し、太刀魚、ウツボ、イワシ等)への出店(毎週日曜日) ・県内外の商談会への出展(5~11 月: 6 回) ・県版 HACCP(第 2 ステージ)認証取得(7/27) <p>◇市場ニーズに対応した新商品の開発・商品の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品(イカのポン菓子)の試作品完成 ・きびなごケンピ新風味(一味)の OEM 製造・販売 ・商品形態のバリエーション充実の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新商品の開発や既存商品の改良 ⇒新商品の試作や既存商品の磨き上げ、商品形態のバリエーションの充実 ・経理等を含めた経営力のワンランクアップ ⇒販売管理システムの導入等による体制強化を含めた経営力の向上
<p>■No. 15 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・土佐大月海産</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品売上高: 33,000 千円 <H26: 14,549 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>商品売上高: 25,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>商品売上高: 20,000 千円 → 実績 23,721 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高(1~9 月): 17,277 千円(前年同期比 103.3%)</p> <p>◇販促営業、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、インターネットを通じた継続的な干物販売 ・県内商社を通じたきびごまの販売 ・通年用リーフレットの作成(5 月~) ・お中元商品の DM 発送、宣伝・販売(6~8 月) ・HACCP 研修(9/13~9/14)及び PRP 研修(9/26)受講 ・南国サニーアクシスの幡多フェアに出店(10/8) ・お歳暮商品の DM 発送、宣伝販売(11~12 月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の構築 ⇒県版 HACCP の取得に向けた社員教育の実施 ・売上アップに向けた新たな個人顧客の獲得 ⇒インターネット販売、カタログ販売の強化
<p>■No. 16 幡多地域産品販売体制構築事業 (幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市 ・土佐清水市 ・四万十市 ・大月町 ・三原村 ・黒潮町 ・生産者 ・加工事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>協議会の活動強化 事業者等の課題把握と関係者の情報共有の仕組みづくり</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>関係者による組織体制の基盤づくり</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇推進組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催 (6/2) ・作業部会の開催 (6/2、7/10、8/3、9/1、9/22、11/27) ・高知県産品商談会運営視察 (スタッフ参加) (5/30) ・事業者調査の実施 (4月～、H30.3月末完了予定) <p>◇販路開拓及び販売促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ(株)への商品提案、意見交換 (5/20) ・サニーマートとの情報交換会 (5/19) ・アクロスリングとの情報交換会 (7/15) ・(株) インフォライズとの情報交換会 (11/9、11/27) ・幡多フェア現地打合せ (サニーアクシス南国店 7/24・9/25、サニーマート衣山店 11/17) ・幡多フェア『四万十まるごと幡多まつり』の実施 (サニーアクシス南国店・10/7～10/8) ・イベント用のぼり旗作成 (9月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6市町村の連携強化 ⇒定期的な作業部会の開催 ・効果的な外商活動に向けた事業計画等の策定 ⇒商品提案書の作成 ⇒外商活動の展開 (産地視察型商談会の開催、県外バイヤーの招聘、幡多フェアの開催 など) ・効率的な情報の収集と共有 ⇒事業者調査の結果をもとに、関係者間のネットワークを構築

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 17 直七の生産、加工、販売の促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産(株) ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>直七果実生産量：200 t <H27：117 t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>直七果実生産量：220 t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>直七果実生産量：220 t → 実績 171 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>直七果実生産量 (H29)：163 t (前年比 95.3%)</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の展示会・商談会の出展及び試食販売の開催 (4～9月：11件) ・「直七の日」(10/7) イベントの実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料(直七)供給の安定化 ⇒新規生産者の増加及び生産方針の教育の徹底、計画的な作付面積の拡大による原料供給の安定化
<p>■No. 18 昭和初期からの地域伝統商品の販売 拡大等事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)菱田ベーカリー 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：60,000 千円 <H26：3,000 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：48,000 千円 (羊羹パン 38,000 千円、ラスク 10,000 千円)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：45,000 千円 → 実績 42,510 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(11月末)：32,900 千円(前年同期比 132.9%)</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の主な商談会及び催事への出展(4～11月 6件) ・高知県産品商談会出展(5月) ・駅ナカ催事(新橋駅：5/23～5/31・10/5～10/10・11/12～11/20、大森駅：6/1～6/7、原木中山駅：9/18～9/24) <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹ぱん「やまもも」味発売(6月限定) ・羊羹ぱん「レモン」味発売(7月限定) ・塩麹羊羹ぱん発売(8月～) ・羊羹ぱん「栗」味発売(9月限定) ・地元の農産物を使った冷凍スイーツ(かぼちゃ、ぶしゅかん、柚子、お茶、芋、トマトなど)等を開発中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹パンのさらなる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取り組みの強化 ・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒官公庁、自主防災組織等への売り込み
<p>■No. 19 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：25 億円（2 社合計）＜H26：17.92 億円＞</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：22.1 億円（2 社合計）</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：19.8 億円 → 実績 18.01 億円（2 社合計）</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（10 月末）：10.09 億円 (内訳)</p> <p>土佐食(株)（10 月末）：8.64 億円 (株)土佐清水元気プロジェクト（10 月末）：1.45 億円</p> <p>◇経営戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会の設立 (4/26) ・H30.4.14 に産地入札会及び宗田節祭りを行うことが決定（9/25） <p>◇原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メジカ漁師の研修生の受入：3 名 ・メジカの市場価格安定に向けた買付資金に、地域ファンドを活用 <p>◇商品開発及び販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 高知県産品商談会（5/30）他 28 催事等に参加 ・宗田節ロードスタンプラリーの開催（11/1 から 1 年間） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会を中心とし、関係団体が連携してハード・ソフト事業を推進 ⇒作業部会の開催 ・衛生管理の強化 ⇒県版 HACCP 取得の推進 ・商品力の強化と販路拡大に向けた取り組みの強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開
<p>■No. 20 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：70,000 千円＜H26：47,600 千円＞</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：70,000 千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・(株)ウェルカムジョン万カンパニー</p> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額: 70,000 千円 → 実績 91,242 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額(1~10月): 68,686 千円(前年同期比 91%)</p> <p>◇外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29 高知県産品商談会への出展(5/30) ・日本アクセス展示会・大阪への出展(7/27~7/28) ・スーパーよさこい(東京)への出店(8/26~8/27) <p>◇衛生管理の向上による生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版 HACCP 第3ステージ認証取得(12/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に増加した売上の維持 ⇒県外での商談会や催事等への積極的な参加 ⇒利益率の高いブライダル商品等に注力
<p>■No. 21 地域産品を活用した加工商品の開発 販売・流通システム構築推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水沸騰社中 ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 ・(株)郷土活性化組合 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>— (H29 新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運送会社とチャーター便について調査・協議 (4~5月) ・運送会社のチャーター便の試行利用(9月) <p>◇地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ワールドの店舗展開拡大 <ul style="list-style-type: none"> ➢土佐清水ワールド 神戸4号店(7/12 開店) ➢土佐清水ワールド 東京・上野店(7/26 開店) ➢土佐清水ワールド幡多バル 西新宿(9/29 開店) ➢土佐清水ワールド幡多バル 高知本店(10/23 開店) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組みづくり ⇒輸送コストの削減に向けた輸送方法の検討 ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり ⇒お客様のニーズに合った新商品の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・民間事業者 ・漁業協同組合等 <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>来客数:1,600人<H28:-></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>来客数:300人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>— (H29新規AP)</p> <p>[取組状況]</p> <p>来客数(9月末):790人</p> <p>◇多様な事業者等と連携した受入体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要な許可等の手続の確認(遊漁船業等について、市・県で実施) ・事業の進め方等についての検討会実施(6/16、民間事業者・市・県) ・関係団体で組織する渚泊協議会の設立(9/20)及び会議(9/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客の促進 ⇒食、スポーツ及び教育などとの分野連携を意識した体験メニューづくり及び誘客計画の作成 ・事業内容の再検討 ⇒関係者間協議等の実施
<p>■No. 23 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 	<p>[目標(H31)]</p> <p>栗加工品製造量:8.0t<H26:4.0t></p> <p>原材料(生栗)仕入量:12t<H26:6.5t></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>栗加工品製造量:7.0t</p> <p>原材料(生栗)仕入量:11t</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>栗加工品製造量:6.0t → 実績6.1t</p> <p>原材料(生栗)仕入量:10t → 実績9.8t</p> <p>[取組状況]</p> <p>原材料(生栗)仕入量(10月末):9t(前年同期比91.8%)</p> <p>◇商品の高付加価値化と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休施設(しまんと庵)を活用した焼き栗販売所の整備(小規模事業者持続化補助金(商工会)の活用、8/11開店) ・飲食店営業許可の取得 ・HACCP認証の取得に向けた取り組み(6/21書類指導、7/12現地指導、8/25・9/27書類指導) ・高知県産品商談会への出展(5/30)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・高知市内の菓子店とのコラボ商品（ミレーサンド、タルト、キャラメル）を道の駅を中心に販売 ・高知市での焼き栗実演販売(10/7～10/9、10/20～10/22、11/16～11/18) ・知的財産セミナーへの参加（12/21） <p>◇栽培しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家定例会の開催（4/4、7/13） <p>◇地域の他素材を使った加工品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青唐辛子下処理 ・イタドリ処理の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な栗の仕入れ ⇒市役所、JA 高知はたなど関係機関との連携強化 ・道の駅を中心とした販売促進、PR ⇒道の駅での統一した商品ラベルの作成、貼付 ・イタドリ栽培加工に関する地域内連携 ⇒地域内での栽培開始を見越した、加工・保管の体制づくり
<p>■No. 24 四万十牛の生産・販売拡大事業 （四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)四万十牛本舗 ・西土佐中央牧場 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000 千円<H26：131,446 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：180,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：150,000 千円 → 実績 183,813 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「よって西土佐」と連携したメニュー等の提供 （弁当：四万十牛カルビ丼、そばろ丼、食堂メニュー：四万十牛カレー、四万十牛ステーキなど） ・新商品 焼肉よこやまのたれ（2種）の販売開始 （4月～） ・県内スーパー（3社）との精肉取引開始（4月～） <p>◇原材料供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育頭数の拡大（10月：140頭→年度内200頭へ） ・農畜産連携及びクラスターについて、西部家畜保健衛生所、幡多農業振興センターと協議（6/14） ・畜産クラスターについての西部家畜保健衛生所と四万十市の協議（12/5） ・西土佐中央牧場が「全農こうち肉牛枝肉共励会」で最優秀賞を受賞（11/27）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化に向けた取り組み ⇒四万十牛の認知度の拡大に向けた商品開発や店舗のPR及び販促活動の強化 ・道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくり ⇒継続的な新加工品等の開発 ・糞尿処理対策、繁殖農家の確保など、一連の課題解決 ⇒関係機関の連携による農業好循環の推進体制の構築
<p>■No. 25 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:150,000千円<H26:0円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:160,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:100,336千円 → 実績166,767千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(9月末):85,206千円(前年同期比86%)</p> <p>◇地域ならではの商品づくり、販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業1周年イベントの開催(4/9) ・運営会議の開催(毎月開催) ・新商品(にしとさ苺ジャム)販売開始 ・月次まつりの開催 (4月・1周年、6月・父の日、7月・とうもろこし、8月・41℃&なす、9月・栗カニ、10月・新米、11月・ゆず、12月・北海道) ・旭川食べマルシェ出店(9/16~9/18) ・フェスティバル土佐ふるさとまつり出店(10/27~10/29) ・四万十うまいもの商店街(11/19) ・高知大丸出張販売(12/16~12/17) <p>◇周辺施設・商店街等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛奥伊予チャーハン街道への参加(4/22~11/30) ・サイクリングイベント「2リバービューライド」参画(9/10) ・来店者数30万人を突破(12/1) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒集客アップのためのイベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺整備の計画づくり <p>⇒将来を見据えた整備計画の作成</p>
<p>■No. 26 四万十地域の素材を活かした新たな 外商戦略構築事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>商品売上高：83,371 千円<H26：30,000 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>商品売上高：59,373 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>商品売上高：40,320 千円 → 実績 48,873 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高（10月末）：27,371 千円（前年同期比 102.3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自社商品の開発強化 <ul style="list-style-type: none"> ・かつお塩ぽんず、かつおゆずぽんずを販売開始（9月） ◇生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・産振総合補助金申請に向けた協議（4～8月、16回） ・産振総合補助金の活用による加工場整備（10/4 交付決定） ・県版 HACCP 第2ステージ認証取得（5/16） ・HACCP アドバイザー個別指導（6/21、9/27） ・一般衛生管理（PRP）研修受講（9/26） ◇販売拠点整備と販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外での販促活動（4回） ・商談会への参加（10回） ・台湾高知県フェアの開催 <ul style="list-style-type: none"> 打合せ（4/24、8/15、9/12） 現地スーパーとの商談（6/22～6/24、9/27～9/29）、 関連企業との打合せ（7/27～7/29） フェア実施（11/16～11/20） ◇四万十市地域商品研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催（4/18、5/26） ・人材育成セミナー開催に向けた協議5回（4～8月） ・人材育成セミナーの開催（10/5、10/20、11/29） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大に向けた施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振総合補助金の活用による新加工場整備着手 ・地域商品研究会の活動強化（会員の確保等） <ul style="list-style-type: none"> ⇒定例会及び人材育成セミナーの継続開催、会員募集

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・WAN LIFE</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：10,352千円<H26：2,088千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：30,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：6,073千円 → 実績 10,756千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高（1～9月）：9,384千円（前年同期比 127.6%）</p> <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業者と連携した商品開発 ・マグロ（大月町）の心臓を原料とした商品を開発中 ⇒試作品完成、金属検査（水銀含有量）実施予定 ・主食となる商品の開発 ⇒市産振補助金活用による厨房施設等整備（8月） ⇒かけるスープ『四万十鶏とゴロゴロ根野菜のスープ』 販売開始（7月） ・新商品のテストマーケティング 阪急百貨店 西宮阪急（7/22～7/23、8/11） 三田阪急（10/7～10/8） ・新商品の試食会（ペットデザイン自由が丘店・11/18） <p>◇販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザーの活用（通販サイトの強化） （5/19、5/20、7/10） ⇒新HPの開設（9月） ・阪急百貨店での販売活動（うめだ本店・9/11～9/14） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 ⇒通販サイトの強化 ⇒主食商品の開発（商品ラインナップのさらなる充実） ⇒企業向けの営業活動を強化 ・県産原材料の確保 ⇒原材料生産者の情報収集
<p>■No. 28 四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)LLPしまんと</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：37,500千円<H26：24,297千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：27,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：29,000千円 → 実績 22,402千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（10月末）：16,227千円（前年同期比 112.2%）</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇商品のラインナップの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼリーシリーズにぶんたん味が追加 (6/4 計3種 (ユズ、グァバ、ぶんたん)) <p>◇販路開拓及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談等への参加4回 (5/30、6/16、7/12、11/28) ・12社との新規取引を開始 ・台湾高知県フェア (11/16～11/20) <p>◇組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP研修受講 (6/6～6/7) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの縮減 ⇒生産の効率化に向けた設備導入の検討 ・売上の増加 ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開
<p>■No. 29 素材の特性を活かした地域色豊かな 冷凍加工食品の開発・製造・販売事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)和 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：23,852千円<H26：11,744千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：17,800千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：14,637千円→実績 21,477千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (6～10月)：8,777千円 (前年同期比 111.0%)</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外のイベント等での実演販売の実施 (28回) ・商談会への参加 6回 (5/30、7/24～7/25、8/23～8/25、8/29～8/31、9/21～9/22、9/28) ・市産振補助金採択 (7/21) 展示会、商談会経費及び販促グッズ作成 <p>◇商品開発及び改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶしゅかん塩だれ (万能たれ) を開発予定 ・農商工連携事業として高幡地域の事業者と連携した商品開発により、OEM受注が激増 <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品表示研修 (6/14) ・HACCP研修受講 (6/6～6/7) ・一般衛生管理 (PRP) 研修受講 (9/26) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大・効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版 HACCP の取得に向けた取り組みの強化 ⇒県版 HACCP に対応した新たな施設整備の検討
<p>■No. 30 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>運営主体の決定</p> <p>基本設計の取りまとめ</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>— (H29 新規 A P)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体の公募内容の検討 (4~5 月) ・運営主体の公募 (6/1~7/14)、審査会の開催 (8/9)、運営主体の決定 (8/9・四万十にぎわい商店 (株)) ・運営会の開催 (12/15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実効性の高い事業計画の策定 ⇒運営会の定例開催
<p>■No. 31 大月町まるごと販売事業 (拠点ビジネス) (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)大月町ふるさと振興公社 <p>※地域産業クラスター関連 (宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 2.5 億円 < H26 : 1.86 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高 : 2.07 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高 : 2.4 億円 → 実績 2.02 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 (10 月末) : 1.22 億円 (前年同期比 104.7%)</p> <p>◇地場産品総合販売ビジネス (ファンづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおつきふれあいマーケットの開催 (毎月第 3 日曜日) ・集客アップに向けた各種イベントの開催 (4/23 つつじ祭り、5/5 GW イベント) ・イベント等へ出店 (宿毛市産業祭、ウミノフォトフェス等) ・県内の商談会への出展 (5/30 産地視察型商談会、11/1 食の大商談会、11/28 土佐の宴) ・ギフトカタログの作成・販売 (夏:6~10 月、冬:11 月~) <p>◇町内事業者と連携した特産品開發生産ビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年用の通販ビジネスの検討 ・テイクアウト商品の開発、販売 (1 品、クレープ) ・HACCP 推進者研修受講 (8/1)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒売店及びテイクアウト商品の充実、強化 (幡多地域の商品の充実等) ・カタログ、ネット販売やふるさと納税関連の企画販売等の強化 ⇒カタログ、ネット販売の通年展開
<p>■No. 32 苺を核とした6次産業化確立事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産法人 苺氷り本舗(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：苺氷り 80,000 千円<H26：65,120 千円> その他 7,600 千円<H26：4,000 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額：苺氷り 70,000 千円 その他 7,600 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額：苺氷り 70,000 千円→実績 56,876 千円 その他 7,600 千円→実績 7,861 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額 (H28.12～H29.10月)：</p> <p> 苺氷り 49,590 千円 (前年同期比 83.3%) その他 7,987 千円 (前年同期比 102.6%)</p> <p>◇販路開拓及び広告宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での営業活動の展開 ・取引先との関係構築のための販売フォロー ・各種イベントへ出店 (Tシャツアート展、ウミノフォトフェス等) <p>◇新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OEM商品の試作(仁淀川町沢渡茶を使った氷り) <p>◇原材料の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮苺の収穫(7t)、定植(9～10月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での販路拡大、各取引店舗における販売量の増大 ⇒販売先の確保に向けたコンセプトの見直しや経営戦略づくり ・新たな商品づくり、OEM生産の促進 ⇒苺氷り以外の商品づくり

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 三原村のどぶろくによる地域活性化事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・土佐三原どぶろく合同会社</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:8,630千円<H27:4,540千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:8,630千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:5,900千円→実績8,159千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(6~10月):4,649千円</p> <p>◇販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加(県商談会(5/30)、まるごと高知(6/23) 商工会商談会(11/8)等) ・イベントへの出展(4~11月:5回) ・新商品の開発 (どぶろくしっとり「ぜいたく」ケーキ:6月、どぶろくカステラ・マドレーヌ・バターケーキ:10月) ・新規格製品(500mlビン)の作成やファン拡大を目指してクラウドファンディングを実施(7/7~9/29:支援総額855,000円) ⇒500mlビン商品の販売開始(10/16) <p>◇広報・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新パンフレットの作成(4月) ・SMSによる商品PRの研修参加(5月) ・さんしんGOで放送(10/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の構築 ⇒情報発信力の強化、三原村へ来てどぶろくを飲んでもらえるような仕掛け、酒屋や料理店等との連携 ・新商品の開発・販売 ⇒季節限定商品や加工品等新たな商品の開発 ・販路の拡大 ⇒県外でのPR活動、商談会等への参加
<p>■No. 34 地域産トマトの加工・販売の推進事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)ベストグロー</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:65,000千円<H26:32,850千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:45,000千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:40,000千円→実績78,516千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(5~9月):29,649千円(前年同期比147%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇生産体制の充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用 1名(4月) <p>➤青果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町での生産、出荷 <p>◇販売促進と商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振アドバイザーの活用(商品開発・販売)(5月) ・商談会参加(県商談会(5/30)、商工会商談会(11/8)等) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産・販売体制の充実・強化 ⇒各種商談会への参加等による販路開拓 ・トマトピューレの販路拡大 ⇒トマトピューレの業務用販売を検討
<p>■No. 35 天日海塩を活用したビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)ソルティープ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:23,000千円<H27:12,000千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:19,500千円</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:15,000千円 → 実績14,310千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(3~10月):12,765千円(前年同期比125.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品 粗塩の販売開始(5月) ・塩づくり体験の受入 ⇒体験受入(3~10月):305人(前年同期比144.5%) <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外事業者の産地視察対応(5/22) ・商談会への出展(5~11月:4回) <p>◇天日塩を使った商品開発(他社商品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩麴入り羊羹パン(菱田ベーカリー:8月販売開始) ・なめらか塩とうふ(豆匠庵:8月販売開始) ・塩キャラメルポップコーン(城西館:9月販売開始) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の効率化 ⇒異物除去作業の設備導入 ・商品の知名度アップとさらなる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発 ・塩づくり体験への誘客促進 ⇒体験観光の促進に向けた体験施設の整備

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 36 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：209,945 千円<H26：118,658 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：204,824 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：199,829 千円 → 実績 220,812 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（10 月末）：142,455 千円（前年同期比 99.2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 周年祭の実施（4/9） ・屋根の増設、フードコート内の看板の変更（8 月） ・フードコートの営業時間短縮を試行（9 月、11～3 月） <p>◇新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鯉カレー」レトルト販売開始（8 月） <p>◇町内関連施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバル」との連携（道の駅での紙のこいのぼり販売、フェスティバル会場での道の駅割引券配布）（5/3） ・道の駅ビオスおおがたとの情報交換会（6/13） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進のための魅力ある店舗づくり ⇒幡多地域の観光情報等発信機能の強化 ⇒黒潮一番館等の地元事業者や関係機関との連携強化 ⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用
<p>■No. 37 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：130,310 千円<H26：84,159 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高：120,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高：115,000 千円 → 実績 79,037 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（3～9 月）：55,664 千円（前年同期比 97.3%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町産業創造セミナーへの参加（5/8、7/4、9/13） ・黒潮町 HP、県移住 HP、高知求人ネットへの求人掲載（4 月～） <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会・イベント等への出展（6～11 月：7 回） <p>◇衛生管理の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP 勉強会（7 月） ・PRP 研修（9 月）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存取引先との取引強化及び新規取引先の開拓 ⇒主要取引先(4社)との連携強化による取引量の増大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・従業員教育の強化 ⇒県版 HACCP 第3ステージに基づく衛生管理手順の遵守及び社員教育の継続的な実施
<p>■No. 38 地域資源を活かした防災関連商品推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:1億円<H26:0.13億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>売上高:97,632千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>売上高:50,000千円 → 実績71,774千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(10月末):32,843千円(前年同期比105.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町産業創造セミナーへの参加(5/8、7/4、9/13) ・ネットショップ「売上・収益アップ」実践セミナーへの参加(6/19) ・求人票作成セミナーへの参加(9月) <p>◇商品開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城復興支援缶詰の販売開始(11月) ・新商品「カツオと筍のアヒージョ」「マグロと大根の和風生姜煮」の販売開始(12月) ・夏ギフトセットのカタログ作成・販売(7月～) ・冬ギフトカタログ作成(11月) <p>◇県内外でのPR販売・営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会・イベント等への出店(5～12月:10回) ・道の駅ビオスおおがたでの店頭販売(8月お盆) <p>◇防災食品普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食での缶詰利用について打合せ(7月) ・黒潮町防災訓練での缶詰配布(9月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP の取得に向けた取り組みの強化 ⇒継続的な社員教育の実施 ・県内外への販売促進強化 ⇒備蓄用缶詰、グルメ缶詰ごとにターゲットを絞った販路開拓 ・地域資源を活用した商品開発 ⇒地域内の事業者との連携強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 39 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社) 幡多広域観光協議会</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト、土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>入込客数:1,296,000人<H26:1,274,622人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>入込客数:1,296,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入込客数:1,296千人 → 実績1,195千人</p> <p>[取組状況]</p> <p>募集型旅行受入実績(9月末):5件130人 はた旅体験受入実績(9月末):246件677人 教育旅行受入(9月末):11校、1,008人 韓国教員訪日団受入(6月):87人</p> <p>◇商品造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐の観光創生塾」への参加 <p>◇誘客促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般旅行:高知県観光説明会(5/17東京、6/19名古屋、7/6福岡、7/19~7/20広島・岡山) ・教育旅行:高知県教育旅行説明会(7/3~4東京) 下見・視察の受入 4校 <p>◇組織体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光推進部会等の開催(6/2) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光につなげる旅行商品づくり ⇒「土佐の観光創生塾」の参加関係団体等と連携した周遊観光商品づくり ・誘致促進に向けた取り組み ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 ⇒愛媛県南予地域と連携したPR活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進PRの展開 ・関係団体と連携した組織強化 ⇒多様な関係者と連携し、日本版DMO候補法人登録を活かした観光地づくり
<p>■No. 40 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社) 幡多広域観光協議会</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>入込客数:8,470人<H26:4,600人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>入込客数:11,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入込客数:5,291人 → 実績8,541人</p> <p>[取組状況]</p> <p>入込客数(11月末):5,220人(前年同期比125.0%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇地域の受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験、民泊の受入体制づくり ・集落活動センター等と連携した受け皿づくり ・受入関係者勉強会（食品衛生など）（7/3） <p>◇PR、誘致活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携によるプロモーション活動の展開（中四国、関西等への誘致） ・人工芝グラウンド プレオープンサッカーフェスティバル（7/15～7/16） オープニングセレモニー（7/22） <p>◇広域連携による取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多広域観光協議会広域観光推進部会（6/2） ・黒潮町スポーツツーリズム推進会議（4/13） ・幡多エリアスポーツ部会意見交換会（中間報告等・12/7） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝も含めた施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進 ・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制づくり ⇒受入体制づくりに向けた各市町村との連携強化 ・観光コンベンションや各種競技団体など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続 ・地域の受入体制づくり ⇒観光協会、旅館組合等との受入協議 ・集落活動センターなど地元住民の積極的な関わり ⇒集落活動センター等を活用した宿泊・お弁当販売、体験受入をセットにした仕組みづくりの継続
<p>■No. 42 竜串地域観光再生プロジェクト （土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・（一社）土佐清水市観光協会 ・NPO 竜串観光振興会 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標（H31）]</p> <p>入込客数：12.5万人 <H26：9.5万人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>入込客数：106,250人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>入込客数：106,250人 → 実績 87,253人</p> <p>[取組状況]</p> <p>入込客数（9月末）：78,045人（前年同期比 108.7%）</p> <p>◇竜串地域との連携体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光プログラムづくり 土佐の観光創生塾への参加 ・各種ツアー、体験型観光メニュー受入

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元調整と住民参画の仕組みづくりに向けた検討 (竜串再生協議会 5/31) ・竜串再開発に関する行政連絡会(6/13、10/5) <p>◇スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)スノーピーク地方創生コンサルティングと設計業務等の監修、支援についての委託業務契約締結(5/1) ・再整備に向けた関係者打合せ(6回) ・爪白キャンプ場等基本・実施設計委託契約の締結(6/15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制構築 ⇒定期的な地元説明会の開催による情報提供 ⇒キャンプイベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり ・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成 ⇒地域住民を巻き込んだ体験型プログラムの造成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業(土佐清水市) 11/6 交付決定</p>	<p>鶏の加工処理及び保管施設を整備することにより、長期肥育鶏の生産加工と流通体制を確立し、土佐清水市の新たな特産品としてブランド化(「土佐極鶏 あしずりキング」)を目指す。</p>	<p>26,072(12,089)</p>
<p>■No.26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業(四万十市) 10/4 交付決定</p>	<p>生産体制や衛生管理、保管能力を強化した加工場を整備し、大口発注対応や管理基準の厳格な大手企業との取引拡大を進め、幡多地域の原材料を活かした商品の販売拡大を図る</p>	<p>20,746(9,375)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・幡多信用金庫との包括協定協議会で第3期計画 ver.2 の説明(5/16)
- ・高知銀行との情報共有会議で第3期計画 ver.2 の説明(6/7)
- ・日本政策金融公庫との意見交換(7/28)
- ・四国銀行との情報共有会議で第3期計画 ver.2 の説明(8/7)
- ・3市議会勉強会で第3期計画 ver.2 の説明(11/22)

4 相談案件：7件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/27	観光	地域住民の観光への積極的な参加などについて
2	5/23	水産加工	水産加工所、直販所、飲食店の新規開業について
3	5/24	水産業	ツガニ養殖事業について
4	6/15	6次産業化	シモン芋を活用した6次産業化の事業展開について
5	8/30	商業	宿毛周辺の農畜産物、水産物等を活用した首都圏での事業展開について
6	11/16	農業	モデル栗園整備等について
7	12/7	観光	離島での宿泊と体験メニュー等を連携させた事業について